

近年、話題になっている新しい技術は、消費者の行動にどのような変化をもたらすのでしょうか。
毎回さまざまな新技術にスポットを当て、その可能性を考えます。

VOL.6 「魅力ある売り場づくりへの新たな進化」

アイデア次第で広がる集客・売上向上の空間演出

建物などに映像を映し、リアルとバーチャルの融合によって新鮮な驚きを提供するプロジェクションマッピング。さまざまなイベントを通じて注目を集め、今後さらなる発展が期待されています。その手法をベースに、「店舗をオリジナリティー豊かな空間として彩ることができないか」という発想から開発されたのが、パナソニックの「Space Player™」です。「照明と映像の融合でこれまでにない空間演出を実現する」というこの製品について、パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 ライティング事業部の山下昌巳さんに、その特長や将来性を伺いました。

「Space Player™は、美しい映像や音声で空間を手軽に演出できる“スポットライト型プロジェクター”です。プロジェクターと言いましたが、概念は照明。光を照らすだけでなく、空間をもっと面白く表現することに利用できないかと考え、プロジェクターとの融合を試みました。そこから生まれたのが新しい空間演

出装置であるSpace Player™です」

では、これまでのプロジェクターと何が違うのでしょうか。

「プロジェクターは対象物の正面から映さなければなりません、Space Player™は角度を選びません。壁、床、天井、テーブル、オブジェなど、あらゆる対象物の映したい所だけに映像を当てることができます。デザインがシンプルなスポットライト型で空間の雰囲気を壊さず、さらにどこから映像が照射されているのか気付きにくいので、サプライズ感を演出することにも優れています」

名古屋のあるレストランでは、テーブルに誕生日ケーキが出来上がるまでのストーリーをアニメーションで描き出し、お祝いの席を演出する仕掛けが好評を得ているとのこと。また仙台のスーパーの鮮魚コーナーでは、床に魚が泳ぐ姿を映し出す演出が子どもたちに人気となり、子ども連れのお客さまの来店が増えるなど、効果を実感できたと言います。

「これまでイベント・映像制作会社をはじめ、飲食店やアパレルショップ、学校、病院、さらには納骨堂まで、幅広い業界で導入されています。高度な映像ではなくても、市販の映像素材を購入し、自分たちでオリジナル動画を作って流すこともできるので、お客さま側からさまざまなアイデアが生まれているんです」

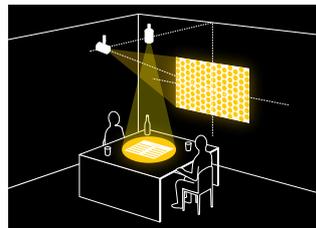
例えば、居酒屋で席に着くとテーブルに本日のおすすめメニューが映し出される。石膏像に眼や口を映し、まるで動き出したかのように演出する。まさにアイデア次第で、驚きにあふれたユニークな空間やサービスを提供できるのです。

「商品に限らず、光と影を組み合わせると木漏れ日を表現するなど、人の心が安らぐような雰囲気に仕立て上げることができます。Space Player™は、“人の心が動く付加価値”を生み出せる、大きな可能性を秘めていると考えています」

今後、日常のあらゆる所にエンターテインメント性をもたらしてくれるでしょう。



© 2017 NAKED Inc.



上/取り付ける位置や角度を手軽に変更できるSpace Player™は、特定のテーブルや壁の一部分など、必要な場所にピンポイントでの映像投影が可能。最新の2000lmタイプは、リモコン1つで複数台から一斉に投射できるようになり、空間演出の幅が「いっそう広がった」
左/今年7月、代々木公園にオープンした「TREE by NAKED yoyogi park」は、食とアートを融合させた体験型レストラン。Space Player™を用いて、店内空間だけでなく、一皿ずつ独自の演出を施し、ゲストを楽しませる。写真は食べ進めると光が変化する「光輝く前菜」

※Space Player™の詳細はコチラから

[\[URL\] www2.panasonic.biz/es/lighting/shop/spaceplayer/](http://www2.panasonic.biz/es/lighting/shop/spaceplayer/)